

## 都立ろう学校図書室でのボランティアと 中央図書館での“おそーじ隊”の活動は続く



友の会では「友の会」活動に多くの方々に参加していただくため、毎月第3週の土曜日の午後1時から3時すぎまで中央図書館のフロアに入会受付台を設置しています。これは図書館職員の方は入会届は受け取れますが、年会費を受け取ることができないため、入会希望の方々への便宜を考えて数年前から行っています。同時に児童室の絵本を中心にした図書の清掃とCDの所蔵棚の整理を行っています。“おそーじ隊”として児童室に前もって用意していただいた“汚れ”の目立つ絵本（特に絵本は裏表紙が白く、多くの幼児やこどもに愛読されている本は…）にスプレーで洗浄液をかけ、タオルで拭き取るという“力仕事”です。しかし生まれかわったような絵本になり、その本

を手に取ることもたちの顔が目浮かぶような気がする作業には毎月、参加者数はことなりますが継続中です。

活動は区内の図書館だけではなく、図書に関する依頼には出来るだけ応えています。今回紹介するのは西亀有にある東京都立葛飾ろう学校からの図書に関するボランティア活動です。

きっかけは友の会に来たボランティアの依頼です。ろう学校には幼稚・小学・中学・高等部があり、図書室があります。これまでは生徒の母親や友人などを中心にして図書の管理や整理などの活動が続いていたもようですが、葛飾図書館友の会への協力を呼びかけられたのです。参加者は現在毎月第3週の水曜日午後1時半に学校に集合し、4時ごろまで絵本の整理、書誌情報のデータ入力や背表紙下部につけるラベルの作成及び貼付、さらには書棚の整理など、多種にわたっています。この活動には毎月数名が参加して作業を行っています。

この4月からこの図書室もICタグによる貸出や管理をスタートさせるとのことです。その作業に大きな期待が寄せられています。残念ながら多数の会員が参加できる状況ではありませんが、少しでも役に立てられればということで継続していきます。今後とも図書館から依頼があった場合にはボランティア団体として出来る限りの協力をしていきます。

### 今年もやります！ ライブラリーカフェ

4月22日(土) 午後3時～ 会議室1

本好き、図書館大好きが集まって  
お茶を飲みながらテーマに沿って楽しくおしゃべりします。  
友の会の紹介や本のリサイクル処理体験もあります。  
直接会場へお越し下さい。  
参加者には友の会より飲み物をプレゼント！



議 場 日  
題 所 時

平成29年4月22日(土) 午後2時より  
葛飾区立中央図書館 会議室1  
平成28年度活動及び収支報告  
平成29年度活動計画案及び予算案など

**第10回葛飾図書館友の会総会開催のお知らせ**  
友の会はこの4月で10年目の活動に入ります。第10回葛飾図書館友の会総会を左記の日程で開催します。会員の方々は2時より総会、友の会活動にご興味・ご関心をお持ちの方は午後3時よりのライブラリーカフェに参加下さい。即日入会も可能です。詳しくは中央図書館内のポスターや区内図書館のチラシ、ホームページなどお知らせします。

# スクリーンを彩る名画と名優の演技を毎月多数の方々が堪能 大好評のナイトシアター 開催が90回を超す

ナイトシアターの開催は「友の会」活動の大きな柱になっており、「友の会」の中に委員会があり、運営しています。

この映画会開催は中央図書館開館を目前にした2009年8月にナイトシアターチームが結成され、原則として毎月第2土曜日の6時から開催し“図書館所有の上映権付きDVDを使用すること”“上映作品の関連資料を上映日当日に会場内に展示すること”“来場者にアンケート記入をお願いすること”の三点を確認して活動が開始されました。そして中央図書館開館を祝した2009年10月31日の第1回目は『大菩薩峠』が選ばれ、翌11月6日には『黄色いリボン』が続き、以降『父と暮らせば』『地下室のメロディ』と次々と名作を上映してきました。毎年11月に開催している「友の会ウィーク」には複数回を、今年3月にはすでに90回を超す上映会になっています。

このナイトシアターは数名の会員の努力によって毎年1年間のラインナップを決定し、チラシの裏に掲載してPRしています。平成29年度の予定は下記にある通りです。都合により予定などの変更があるかもしれませんが、区内に配布されているチラシや中央図書館のポスターやホームページでご確認下さい。

来場者は60才台を中心に毎回平均50名が会議室1に集い、上映後に回収されるアンケートには“素晴らしい映画の上映ありがとう”“古い映画はなかなか観る機会がないので今後も続けてほしい”“毎回楽しみにしている”などの声が多く寄せられています。ちなみに昨年度は10月に上映した『アンナ・カレニナ』には80名を超える来場者がスクリーンに見入っていました。また時には2時間を超える大作の上映もあって、開始時間を30分早めるなどの配慮もしています。映画が好きな方は是非「友の会」にご加入いただき、ナイトシアターの開催にご協力下さい。

## 平成29年度友の会ナイトシアター上映予定表

平成29年 4月 8日(土)	僕の村は戦場だった	1962年 旧ソビエト連邦 95分 モノクロ 監督 アンドレイ・タルコフスキー 出演 ニコライ・ブルリャーエフ 他
5月13日(土)	ナイアガラ	1953年 アメリカ 92分 カラー 監督 ヘンリー・ハサウェイ 出演 マリリン・モンロー、ジョセフ・コットン他
6月10日(土)	我等の生涯の最良の年	1946年 アメリカ 172分 モノクロ 監督 ウィリアム・ワイラー 出演 フレデリック・マーチ、マーナ・ロイ他
7月 8日(土)	橋のない川 (1部)	1969年 日本 127分 モノクロ 監督 今井 正 出演 北林谷栄 伊藤雄之助 長山藍子 他
8月12日(土)	橋のない川 (2部)	1970年 日本 140分 モノクロ 監督 今井 正 出演 伊藤雄之助 北林谷栄 長山藍子 他
9月 9日(土)	若者のすべて	1960年 伊=仏 177分 モノクロ 日本語字幕 監督 ルキーノ・ヴィスコンティ 出演 アラン・ドロン、レナート・サルヴァトーリ 他
10月14日(土)	死海殺人事件	1988年 アメリカ 103分 カラー 日本語字幕 監督 マイケル・ウィナー 出演 ピーター・ユスティノフ 他
11月11日(土)	ウィニング・パス	2003年 日本 108分 カラー 監督 中田新一 出演 松山ケンイチ、堀北真希、角替和枝 他
12月 9日(土)	真昼の決闘	1952年 アメリカ 85分 モノクロ 監督 フレッド・ジンネマン 出演 ゲイリー・クーバー、グレイス・ケリー 他
平成30年 1月13日(土)	地上(ここ)より永遠に	1953年 アメリカ 118分 モノクロ 監督 フレッド・ジンネマン 出演 パート・ランカスター、モンゴメリー・クリフト他
2月10日(土)	荒野の素浪人	1972年 日本 135分 カラー 監督 石川義寛 村山三男 出演 三船敏郎 坂上二郎 大出俊 他
3月10日(土)	我が道を往く	1944年 アメリカ 126分 モノクロ 監督 レオ・マックリー 出演 ビング・クロスビー、 他



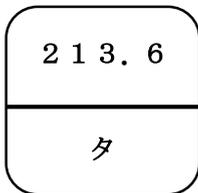
# 図書館を知ろう（第2回） “背ラベルの『請求記号』で本の内容がほぼわかる”

**前回(第25号)では私たち「友の会」会員が行う“本をそろえる”ボランティア活動の手順について説明しましたが、今回は本の背表紙に貼られているラベルの『請求記号』について知っておきましょう。**

この『請求記号』はおおむね日本十進分類法に基づいた「分類記号」と著者名の読み方のあたまのカナによる「著者記号」で表記されています。これは図書の内容を示すとともに、図書館のどこの書棚に配架されているか判断できます。「分類記号」は100番台が大分類、10番台が中分類、1番台が小分類を示してあり、さらに小数点以下は細分類と称され、番号の小さい順に左上から書架に並べられています。

例えば、葛飾区立中央図書館ではこの**213.6**という請求記号が貼られている本は200番台の歴史を、10番台の日本史を、1番台の関東地方を、そして小数点以下の6は東京をそれぞれ表わしています。従ってこの本は「東京の歴史」について発行されたものであることがわかります。またその下にカナ表示されているのは著者名の最初の文字のカタカナで、アイウエオ順に並べられています。外国名のヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォはそれぞれバ、ビ、ブ、ベ、ボの書棚に配架されています。なお原則的に青いラベルは一般書、赤いラベルは児童書です（図書館によってラベルの色は違います）。図書館を利用する時にお目当ての本を探す際に、知っておくと便利かも…。

ラベルの読み方



213.6と言う番号は  
 200 = 歴史  
 10 = 日本史  
 3 = 関東地方  
 . 6 = 東京を表しています。  
 よってこの本は「東京の歴史」と分類されています

## 大盛況でした「新春かるた会」

1月3日（火）に友の会主催の第5回「新春かるた会」が開催されました。周知が行き届いた効果か、本年は小・中学生に大人も交えた一般参加者は昨年の30人を上回る41名。予想を超えた人数による熱気で、大いに盛り上がりました。

恒例の朝野会長によるギター演奏でのどかな新春気分を味わったあとは、まず「かつしか郷土かるた」でスタート。授業でも接している葛飾区の児童・生徒の皆さんにはお手の物のようです。続いては百人一首の絵札による「坊主めぐり」。修練よりも運任せのゲームなので低学年の児童も大人も対等に勝負でき、札の山の行き来に一喜一憂。その静かな興奮はラストの「小倉百人一首」では張りつめた空気へ一変しました。ちらし取りでの各テーブル上位者が、札を一列に並べて対する源平戦に進んでのさらなる緊張感。今年は小学児童



も参加して善戦でしたが、決戦の優勝者は中学3年生の女子でした。

友の会からの賞品は1、2位に図書券、3位に図書館バッグ、入賞者には会員から提供された「かつしか生きものトランプ」が贈られ、他の参加者も図書館提供の大量のグッズがプレゼントされました。

今回画期的だったのは、百人一首の読み上げに例年利用してきたCDを「葛飾音訳ボランティアの会」の協力により再編集してのち、パソコンで読み上げるシステムへの変更でした。すべてスムーズに進行でき、関係者を含めすべてに満足の行ったかるた会でした。

**葛飾 友の会**

**検索**

**クリックで友の会HPへ**

アドレス：katsutomo.jimdo.co

# 会員継続のお願いと新規入会のお誘い

## 今年度も会員として活動・協力を そして一緒に活動しませんか



「葛飾図書館友の会」は、区内の図書館でのボランティア活動や学習会・交流会などを通じて、区民のための人づくり・まちづくりとしての図書館であり続けるよう守り育て、生涯学習の場として共に学ぶことを目的に結成された会です。今年で10年目の活動に入り、多くの会員が参加・活動しています。毎年11月には「友の会ウィーク」を開催し、当会を含め、会員が所属する団体、図書館で活動している各種ボランティア団体などが日頃の成果の発表やイベントを開催してご好評を得ています。

これまで会員になっていただいている皆さん、4月から新しい年度に入ります。これまで通り会員継続の手続きをお願いします。また図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただき、現在活動している委員会（総務、広報、児童サービス応援、ナイトシアター、CD・DVDコンサート）に参加され活動したり、新たな委員会を立ち上げて、あなたの図書館に関わるいろ

んなアイデアを少しずつ実現してみませんか？

加入手続きは4月22日（土）に開催される第10回総会時（1面参照）や原則として毎月第3土曜日の午後1時から中央図書館フロアで、また友の会主催の開催イベント時でも直接の加入受付を行っていますのでご利用下さい。会員の皆さんには毎月、友の会主催のイベント情報などのお知らせと季刊紙「葛飾図書館 友の会通信」を郵送・配信します。

一般会員の年会費は1,000円、活動の趣旨に賛同・支援をいただく賛助会員は一口年会費2,000円です。一口500円のご寄付も大歓迎です。

なお、上記の会費などの納入方法が利用できない場合、新規入会希望者は中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を下記の口座に納入して下さい。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、29年度会費とご記入下さい。振込み手数料は窓口では130円、ATMからでは80円です。恐れ入りますがご負担をお願いいたします。



ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

入会届を含め、「友の会」に関するQ&A・会則などのパンフレットは中央図書館内の当会のラックにあります。入会届はHP（<http://katsutomo.jimdo.com/>）からもダウンロードできます。お問い合わせ先：中央図書館友の会担当者（打越さん、吉村さん、白井さん、川井さん）Tel 03-3607-9201

### 色えんぴつ

生まれて初めて写経というものをして。お寺で、ではなく、書道習っている教室でのチャリティ・イベントとして体験。参加費は東日本大震災のあしなが募金に寄付され、書いた写経はお寺に納めてくださるという至れり尽くせりの企画▼その日は我が家を含め3組のカップルが参加。簡単な書き方の説明と般若心経の意味の解説を聞いてから、6人がただひたすらだまって、書く。筆ペン教室なので、墨もすらず、ただ書く。およそ1時間半黙って書く。お手本を見ながらなぞって行くだけなのだが、とても気持ちがいい。考えてみれば、仕事以外でこんなに集中することは無いし、かつ仕事とは違う脳と心の動き▼筆ペンなので自宅でも簡単にできることのはずなのに、なかなか自宅でこれほど集中できない。そういうえば昔から通信教育にはくじけ続けた私である。どうやら私は学ぶ場に行かなければ学習モードにならないらしい。どこでも集中でき、一日中でも数式と格闘できる数学者の本を読んだことがあるが、そんな人は生まれだ▼様々な講座や教室に参加するというのは学ぶ場を求める想いがあるからなのだろう。生涯学習が必要といわれるこの頃だが、講座やイベントなど日常と違う場で体験することの重要性を知った。1時間半の写経は有意義なものであった。

（阿部広報委員長）